



PbOPSS-23

無作為オンラインパネル

無作為オンラインパネル『PbOPSS-23』のご登録者の皆様へ 2025 年第 3 回アンケートの全体結果のご報告・その2

2025年 11 月

拝啓 大変暑い夏が終わったと思ったら、急激に寒い季節となってまいりました。皆様はいかがお過ごしでしょうか。大阪・関西万博も終了し、初の女性総理となる高市内閣が発足しました。これについては次ページ以降で今年初めの調査結果を御紹介いたします。今年は「昭和 100 年」と随所で言われていますが、昭和末期のバブル期を超える日経平均株価を記録し、ついには 5 万円を超えたとのニュースも飛び交いました。ただ、一般の人々には近年の「好景気」は全く実感がないという指摘もしばしばされる場所かと思えます。むしろコメ高や物価高の方が皆さんの印象には強いかもしれません。現在は、熊による深刻な被害についての報道が絶えません。

皆様には2~3月に第3回 PbOPSS-23 パネル調査「2024 年の日本の政治変動と経済生活についてのアンケート」にご協力いただきました。7月に郵送でお送りした定期通信第8号では調査全体の結果から、大阪・関西万博への意見やメディア利用を取り上げてご紹介しました。今回は第 3 回調査の紹介の最終回になる予定です。今後 **年明けにはまた第 4 回の調査へのご協力をお願いする予定であります**ので、どうぞよろしくお願いもうしあげます。

今回も前回同様、Eメールでの連絡を御希望されていた方も含め**すべての方に印刷物でお届けさせていただきます**。郵送を希望されない方はお手数ですが下記受付窓口までご連絡ください。

今後も4~5ヶ月に一度くらいの PbOPSS-23 定期通信をお送りする予定です。お手元に届いた際にはぜひご覧いただければ幸いです。

本調査研究は2026年度末まで続く予定です。どうか引き続きご協力をお願いいたします。

敬具

皆様の個人情報につきましては、プライバシーマークを取得している専門調査会社のサバイリサーチセンターのみが登録者名簿を厳重に管理し、大学研究者は皆様のご住所、お名前、メールアドレスは所持しておりません。この通信も、研究者側が作成したあと調査会社へ送付を委託してお届けします。ですので、住所やメールアドレスなどご連絡先の変更は、下記のサバイリサーチセンターの受付窓口にご連絡下さい。

ご連絡先変更などの受付窓口

株式会社サバイリサーチセンター 調査事務局 <https://www.surece.co.jp/>

〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目1番3号 PMO 水道橋ビル 6F 担当:土屋・阿部・西浦・生島
フリーダイヤル 0120-366-354 (平日 9 時~18 時・土日祝祭日を除く)

メールアドレス ochakenkyu@surece.co.jp

研究プロジェクト

研究代表者: 杉野 勇(お茶の水女子大学)

研究分担者: 尾嶋 史章(同志社大学)、歸山 亜紀(群馬県立女子大学)、

小林 大祐(金沢大学)、轟 亮(金沢大学)、平沢 和司(北海道大学)

研究プロジェクトのウェブページでは、結果の報告など随時情報を更新しています。

URL: <https://www.li.ocha.ac.jp/ug/hss/socio/sugino/PbOPSS23/>



【はじめに】

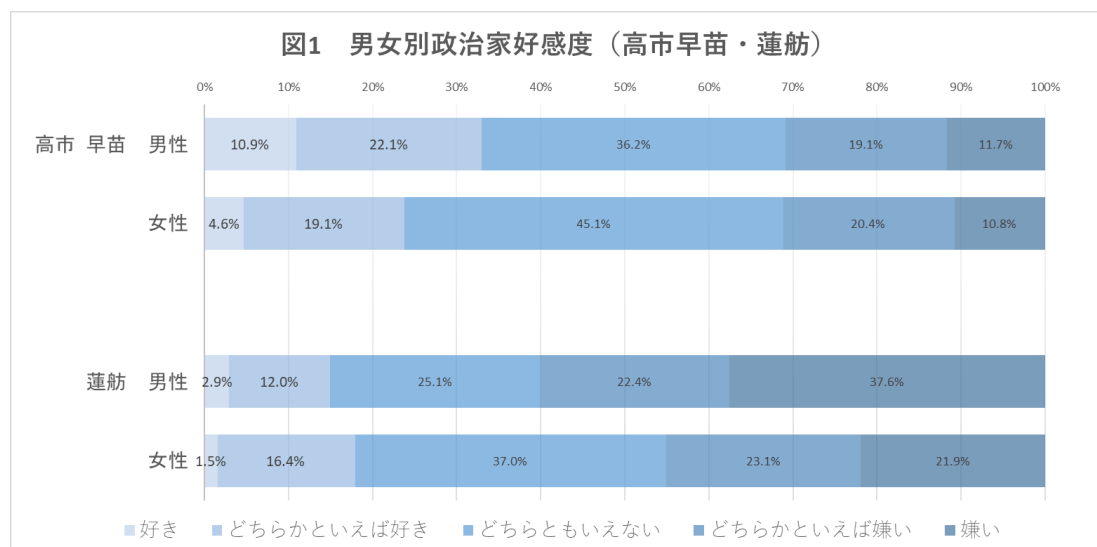
10月21日、石破内閣の総辞職を受けて内閣総理大臣指名選挙が行われ、自由民主党の高市早苗氏が第104代首相に選出されました。憲政史上初の女性総理大臣の誕生です。今年3月にみなさんにご回答頂いた、第3回調査では高市早苗氏についても聞いていました。同月にお送りした定期通信第7号でも、速報的に結果をご報告していましたが、今回は、まず前半部分で高市早苗氏についてもう少し掘り下げた結果をご紹介します。後半では、「女性議員を増やすためのクォータ制」についての態度や、最近政治的態度との関係が注目されているショート動画視聴について分析します。

○高市早苗氏への好感度の男女別、年齢階級別分析

3月の調査では、2024年の政治の世界で話題になった政治家6名（石丸伸二、斎藤元彦、蓮舫、石破茂、高市早苗、野田佳彦）について好感度を聞きました。そしてそのなかで高市早苗氏を好きと回答した割合（「好き」+「どちらかといえば好き」）は28.9%で6人の中では最も高い値でした（この結果は、定期通信第7号で紹介しております）。では、高市早苗氏はどのような層から人気を得ているのでしょうか。

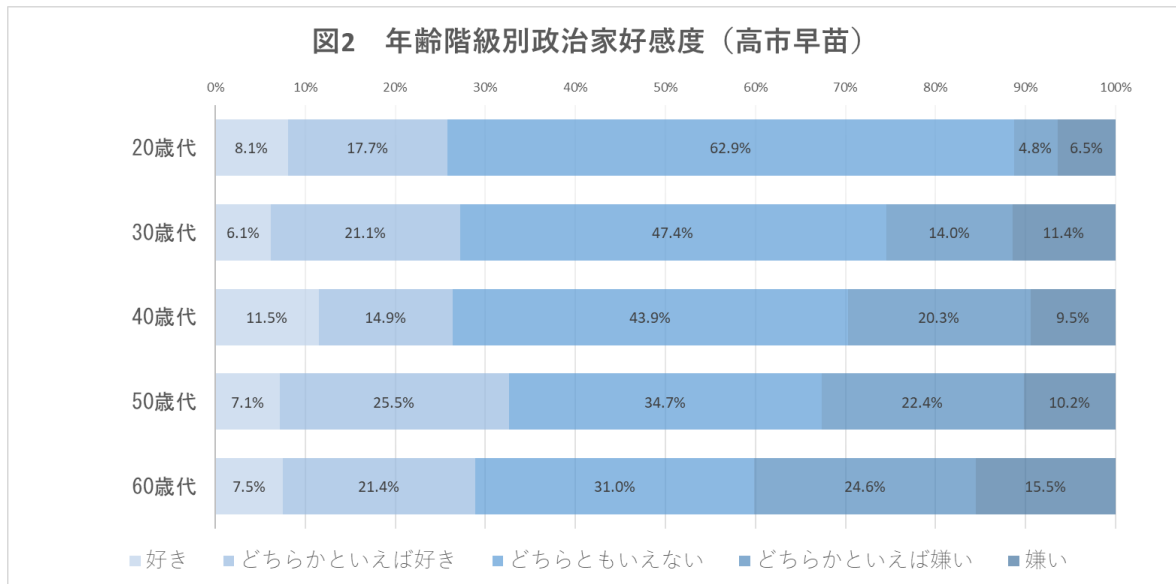
まず男女別に、高市早苗氏への好感度を比較したのが図1です（なお性別が「その他／答えたくない」は7名のため分析結果からは除外しています）。好きと回答した割合（「好き」+「どちらかといえば好き」）は男性で33.0%なのに対し、女性では23.7%であり、男性においてより好感度が高いことが分かります。

なお、同じ女性政治家でも立憲民主党の蓮舫氏では、好きな割合が、男性で14.9%、女性で17.9%となっており、僅かですが女性でより好感度が高い一方、嫌いな割合（「嫌い」+「どちらかといえば嫌い」）は男性で15ポイントも高く、男性からの好感度は明確に低いことが分かります。このような傾向からは、高市早苗氏の保守を標榜する政治姿勢、なかでも伝統的なジェンダー観が男性からの支持につながっている可能性が考えられるでしょう。



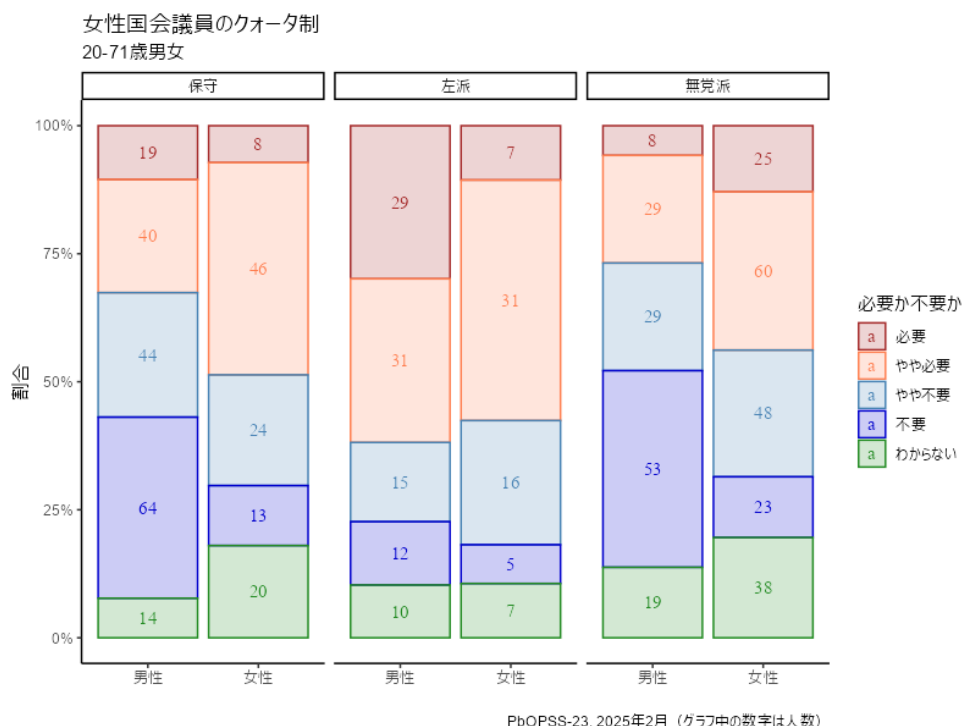
では、年代別ではどうでしょうか。20歳代から60歳代（70歳と71歳も含む）までの年齢階級別に高市早苗氏への好感度分布を示したのが図2です。好きと回答した割合については、年代とともに高くなる傾向も見られますが、20歳代で25.8%、60歳代で28.9%とそこまで顕著ではありません。そして、「好き」

だけで見るともっとも高いのが 40 歳代(11.5%)で次に 20 歳代(8.1%)となっており、むしろ強い支持は比較的若い層から得ているようにも見えます。興味深いのは、嫌いな割合(「嫌い」+「どちらかといえば嫌い」)です。こちらは、20 歳代では 11.3%なのに対し、60 歳代では 40.1%にもなっており、年代が高くなるにつれ、嫌いと回答する割合も高まるという明確な傾向が示されています。ここからは、高市早苗氏が国民民主党とも共通する新自由主義的な経済志向によって若年層から一定程度評価されているという可能性も考えられるでしょう。この可能性については、今後更に詳細に分析していければと考えています。



○女性議員を増やすためにクォータ制を導入する必要があると思いますか

初の女性総理の誕生となりましたが、女性閣僚の数はそれほど多くはありませんでした。国会議員における女性の割合も、近年高まってきたとは言え、欧米よりは低い水準です。欧米では、政党が候補の一定数を女性に割り当てる「クォータ制」というものが採用されて女性の国会議員を増やした国もありました。

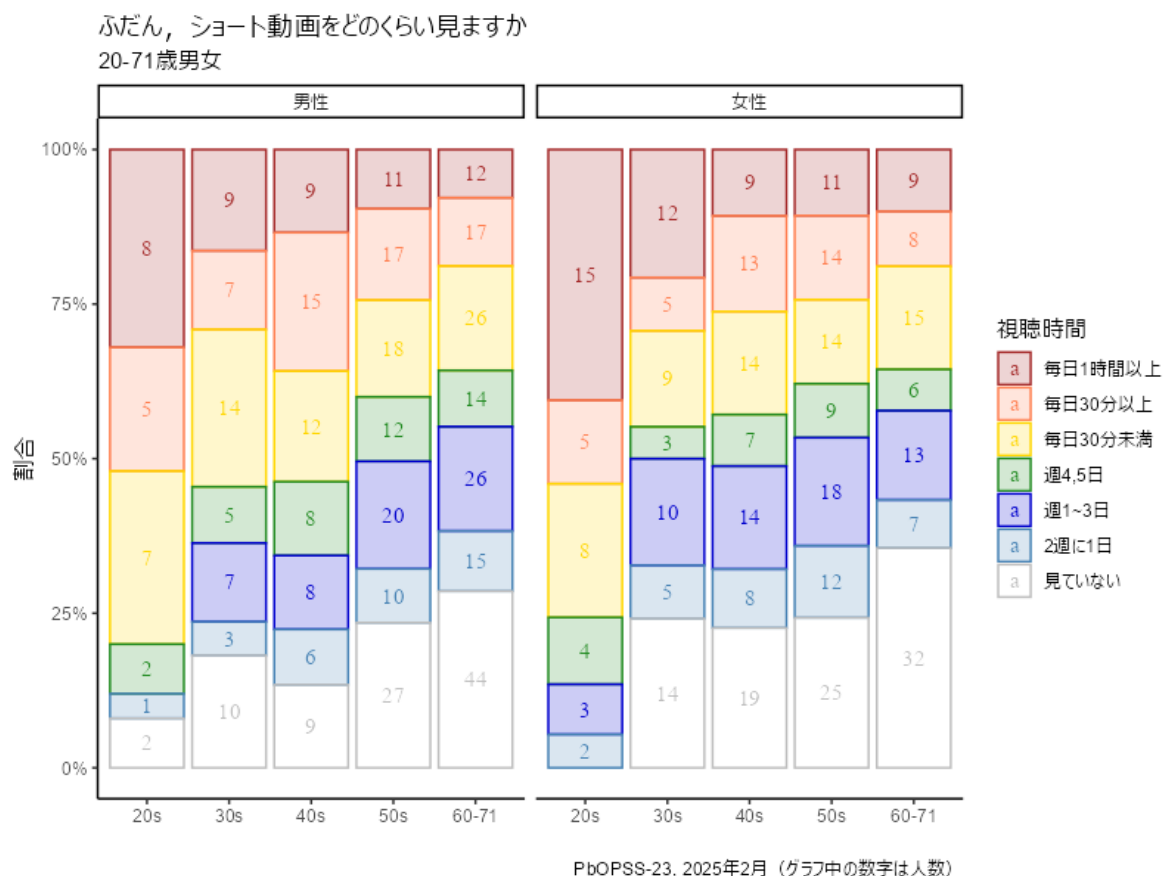


こうしたクォータ制への賛否を支持政党別に集計したのが前頁のグラフです。政党支持は、自民、日本維新の会、国民民主党、日本保守党、そして参政党を「保守」にまとめ、立憲民主、公明、共産、れいわ新選組、社民党をまとめて「左派」と表記しました。支持政党「その他」と支持政党なしを「無党派」としています。該当者の数が少ない選択肢が多いため、これ以上詳しく分類することはしませんでした。またグラフには敢えて「わからない」を含めていますが、これを除いて割合を見るとまた少し印象が変わるかもしれません。

「左派」としたりベラル寄野党の支持者において女性国会議員のクォータ制支持が多いのはほぼ予想通りと言えますが、よく見ると女性においては「保守」支持層との違いはあまりありません。「無党派」女性もほぼ同様です。それに対して男性では、「左派」が明確に賛成していてもむしろ「左派」女性よりもやや積極的なほどであり、「保守」男性や「無党派」男性との違いが明瞭になっているように見られます。

○あなたは、ふだん、ショート動画をどのくらい見ますか

ショート動画とは、YouTube の Shorts (ショート) や TikTok など、1 分程度の縦型の動画を指します。近年、若者を中心に、急速に利用者が増えていて、政治的態度や投票行動への影響も注目されていると言えます。下のグラフがその結果でした。予想通り年齢との関係は極めて明瞭でした。20 代では男女とも四分の三もしくはそれ以上の人々が毎日見ているとの結果でした。毎日見る人が 5 割前後の 30 代・40 代との違いも小さくなさそうです。30 代・40 代では、女性よりも男性の方がわずかに見る頻度が高そうにも見られます。意外だったのは、50 歳以上でも毎日見る人が三分の一以上もいたことでしょうか。これは（60 歳以上の女性を除いては）「見ていない」人よりも多いほどです。



今後は、こうした情報接触の様式の違いが、政治的態度にはたして影響しているのかどうかなどを更に探究してゆきたいと考えています。